

## 第三者評価 評価結果総括表

NPO 中小企業再生支援第三者評価事業部

事業所名	ポピンズナーサリースクールみなとみらい
報告書作成日	平成 29 年 01 年 10 日 (評価に要した期間 7 か月)
評価機関	NPO 中小企業再生支援第三者評価事業部

### 評価方法

自己評価方法 実施期間：平成 28 年 09 月 27 日 ～平成 28 年 10 月 22 日	全職員が参加し、職員会議などを通して検討を重ね、その結果を園長がまとめました。
評価調査員による評価方法 実施日：第 1 日目平成 28 年 11 月 07 日 実施日：第 2 日目平成 28 年 11 月 16 日	評価調査員 3 名が 2 日間園を訪問し、現場観察、書類確認、職員ヒアリング（園長、職員 3 名）および子どもの観察を行いました。
利用者家族アンケート実施方法 実施期間：平成 28 年 10 月 04 日 ～平成 28 年 10 月 14 日	全園児の保護者に、アンケート用紙と返信用封筒を園から渡して、園に回収箱を備え、無記名・密封の状態ですべて評価機関が回収しました。
利用者本人調査方法 (実施日：平成 28 年 11 月 07 日 11 月 16 日)	園児の 1 日の流れに沿って、保育園での生活状況を観察を中心に行いました。また、園児と遊びや食事をともにしながら、会話の中から聞き取りを行いました。

### 評価結果についての講評

<p><b>【施設の特徴】</b></p> <p>・ <b>立地及び施設の概要</b> 株式会社ポピンズ系列のポピンズナーサリースクールみなとみらいは、地下鉄みなとみらい線みなとみらい駅より徒歩 5 分、JR 桜木町駅より徒歩 15 分のビルの 1 階にあります。園は 2013 年 5 月 30 日に開設され、0 歳から 5 歳児の定員 50 名の小規模保育園で、現在 56 名の園児が在席しています。園より徒歩 15 分以内には横浜臨海公園や運河パークなど多くの公園があり、園では子どもたちの発達に応じて選択し、散歩、運動に利用しています。</p> <p>・ <b>特徴</b> 園の具体的な保育手法として「エデュケア」(education 教育、care 保育の合成語)があり、これを実践する上で園は、ポピンズアプローチという独自の手法により子どもの成長を支援しています。ポピンズアプローチでは子どもの成長における重要時期は「0 才から」として、こどもの知力を、言語・音楽・論理数学・空間構成・身体運動・自然科学・社会性・自己受容の 8 つの領域に整</p>
--

理し、「知力8（エイト）」と名付け、子どもの発達状況を勘案して、これらをベースとして組み合わせてカリキュラムを構成・運営しています。

**【特に優れていると思われる点】**

**1. 園の虐待の早期発見に取り組む姿勢**

横浜市の「横浜市子どもを虐待から守る条例」が施行されていますが、園には虐待を疑われる子どもが一人もいません。園では設置法人独自の「こども虐待対応マニュアル」に詳細な分析と対処方法が記され、その中で「ナーサリー1日のチェックポイント」として登園、オムツ交換時、給食時、お迎え、の各シーンにおける子どもの様子、保護者の様子のチェックポイントがあり、午睡時、子どもをハグ（抱きしめる）することで早期発見に努めています。

**2. 除菌・洗剤メーカーとタイアップし、協力を得て作成した詳細な衛生マニュアル**

園は大手の除菌・洗剤メーカーとタイアップして、床の洗浄・除菌、テーブルの洗浄・除菌から、壁、ユーティリティの洗浄・除菌に至るまで、全11部位にわたる詳細な衛生マニュアルを完成し、全職員で分担し、衛生管理にあたっています。特に感染症などの流行時には、作業頻度を臨機応変にアップして保育環境を守っています。

**3. 子どもは地域の小さな親善大使**

園は国際都市横浜の中心部に位置し、子どもたちの散歩の際は、地域の人に加えて多くの観光客や外国人ともすれちがいます。その度に子どもたちは大きな声でご挨拶し、挨拶された大人からもやさしい挨拶が返され、子どもたちは地域の小さな親善大使の役割をこなしていました。

**【特に改善や工夫などを期待したい点】**

**1. 地域育児相談案内のさらなる工夫を**

地域に対して育児相談を定期的および随時に受け入れることを積極的に案内して、地域の子育て世代が園のドアをくぐりやすくなるように配慮を期待いたします。

## 事業所名:ポピンズみなとみらい保育園

NPO中小企業再生支援第三者評価事業部



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

### 評価領域 I 利用者本人（子ども本人）の尊重

#### 評価分類

##### I-1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成



#### 評価の理由(コメント)

・株式会社ポピンズの企業理念は「最高水準のエデュケアと介護サービスで社会に貢献します」とし、エデュケアとはエデュケーション（教育）とケア（保育）の合成略語です。

・ナーサリースクールとは保育学校の意味です。園の保育理念は「人生で最も重要な時期の人間教育を目指します」です。教育に重点を置き、保育目標として「①寛容な人間、②聡明で愛情深い人間、③探究心の旺盛な人間、④グローバル社会で活躍できる人間」と人間像の養成を挙げています。

・横浜市認可保育園である「ポピンズナーサリースクールみなとみらい」は英語で保育学校を意味します。創業者である中村紀子代表が英国の教育ベビーシッター養成校ノーランドカレッジの保育手法を導入、全国で100箇所をこえるまでに成長しています。園は最も教育を重視します。理念は「人生の最も重要な時期の人間教育を目指します」です。ポピンズの哲学は“私たちは、子ども一人一人独立した存在として尊敬し、個性を伸ばし、子どもの尊厳、独立心、権利を守る”と子どもとその保護者本位の保育を宣言しています。

・教育方針として4つの人間像、①寛容な人間、②聡明で愛情深い人間、③探究心の旺盛な人間、④グローバル社会で活躍できる人間”を掲げ、この方針 目標をホームページ、玄関に掲示し、指導計画など社内資料のトップに示し保護者、職員に周知徹底しています。

・真の人間教育「エデュケア」（education教育、care保育の合成語）を実践していくため、独自の手法であるポピンズアプローチにより、人生の重要時期は「0才から」としてこどもの知力を8つの領域に整理し「知力8（エイト）」と名付け、カリキュラムのベースとしています。

・理念、基本方針は玄関に掲示し、スタッフには各種会議で、保護者には「重要事項説明書」に詳細な解説を掲載し、周知を図っています。

・一日の保育の流れの中で午前中「エデュケアプログラム」を組み毎日実施しております。

・保育課程は、保護者の就労状況や待機児童の多さなどの地域特性を配慮、朝7～20時までの保育で保護者負担の軽減を実施しています。

## I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- ・人生の重要時期は「0才から」としこどもの知力を8領域に整理し「知力8（エイト）」と名付け、言語、音楽、論理数学、自己受容、自然科学、身体運動、社会性、空間構成を相互に関りを持たせカリキュラムを組んでいます。
- ・入園前面接は事前に提出された資料「児童票」「児童健康票」「健康診断票」「送迎登録票」「食事調査票」を基に施設長、クラス担当、栄養士、看護師で面接します。
- ・0～2歳児は毎日の様子をポピンズメモリーにて報告、3歳児以上は自由記載形式のメモリーを必要に応じて活用し園と家庭とのきめ細やかな情報共有をはかっています。
- ・保護者がPCやスマートフォンから入力できるウェブシステムを採用し、マイページから子どもの様子を登園前にスタッフに知らせ、朝のあわただしい中での時間節約など保護者への配慮を心掛けています。
- ・園の各種指導計画の作成ルールはマニュアルで決められています。設置法人が介護保育サービスの品質の国際規格であるISO9001を取得、半年ごとにチェックが行われています。目的は顧客満足度の向上で、有力な手段として保護者アンケートが実施されています。
- ・年間指導計画はクラス担当が作成し、施設長が承認します。月次指導計画で具体的にブレークダウンし、さらに週案、日案とありますが成長記録 評価は毎日の保育日誌がベースです。子どもの一日の活動の流れ、様子が記録され保育士がどのように指導したかが詳細に、また反省点も記録されています。「個別に留意した点」が個人別に記入されており、この集積が週案の「評価・反省」につながっています。

## I-3 快適な施設環境の確保



- ・園の場所は横浜市のビジネス街です。通称三菱村ともいわれ、当園も三菱地所有のビルの1階です。
- ・外は常に清掃が行き届き、屋内は白と淡い水色に統一され、職員の服装も白系統で統一されています。
- ・清掃は各職員が担当、民間の洗剤会社が作成した「清掃マニュアル」を活用しています。壁、トイレ、床、玩具など各部分の清掃の方法をプロが書いた絵入りのマニュアルを掃除の現場で使用しています。
- ・加湿空気清浄器が設置され 冬は22度、夏は28度に温度がコントロールされています。
- ・園の部屋は窓が3メートル、天井も5メートルと通常のビルよりも高くつくられています。そのため陽光はさんさんと部屋に入り込みます。
- ・子どもの声は少々大きくても気密性に優れた部屋のため外に漏れません。
- ・0、1歳児は各々独立した部屋です。
- ・2、3歳児は同一の部屋、4、5歳は同一部屋ですが、その間は1メートルの高さの収納棚で仕切られています。大きな部屋のために子どもの姿はお互いに影に隠れてみえません。
- ・各部屋では異年齢児の交流が自然に行われています。
- ・各保育室は食事時はその空間となり、各コーナー寄りが昼寝の空間となります。
- ・0、1歳児には沐浴設備を備えています。
- ・温水シャワーの設備も備え汗かいた時や、下痢や嘔吐時にも体を洗い清潔に保てるようにしています。
- ・保育室は床暖房が整備され、全員裸足で遊んでいます。

#### I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



0歳～2歳まで毎月、毎週「個別カリキュラム」を作成し、月末に評価反省（振り返り）を行い施設長が確認していますが、子どもの育ちや状況により、保護者と情報共有しながら柔軟に見直しを行います。

- ・特別配慮の必要な子どもについては、個別指導計画が作成されています。

- ・「健康観察記録表」をクラス担当が個人別に毎日作成し「保育日誌」に個人個人の様子が一目で分かるように記録されています。

- ・園には障害者がおり中部地域療育センターの助言を得ながら「個別カリキュラム」を作成し、子どもの発達の様子に合わせ、保護者の同意を得ながら個別の指導計画を進めています。

- ・これら資料を基に月1回のスタッフ会議でケースカンファレンスを行い、計画の見直しをおこなっています。

- ・子どもの発達状況は「児童票」に逐次記入され、「成長記録」の名前の書類にも記入しています。園は年間を4期に分け、1期は4、5月、2期は6～8月、3期は9～12月、4期を1～3月としており、その期間の成長をクラス担当が記録しています。

- ・園は写真を多用しドキュメンテーションとして子どもの成長を可視化する方法を取っており、毎日の遊びの様子がその日の夕方には廊下に貼り出されます。

- ・重要な申し送り事項は個人別にファイリングされ子どもの進級時の職員間申し送りに利用しています。

- ・進級時の申し送りは成長記録と合わせて、口頭で申し送りを行っています。

- ・小学校へ送られる保育所児童保育要録は情報公開請求があれば公開されますので 特に慎重な記録として扱われて

#### I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ・園には障害者が在園し、その配慮が必要な子どものケース記録は月1回のスタッフミーティングで報告し、話し合われており、議事録に記録されています。

- ・個人記録として児童票などは個人情報としてカギにあるロッカーへ納めています。

- ・「横浜市子供を虐待から守る条例」が施行されています。

- ・設置法人独自の「こども虐待対応マニュアル」には詳細な分析があり重要事項説明書で「虐待の防止のための措置」を保護者へ説明し理解を求めています。発見した場合は施設長は関係機関へ通報します。

- ・職員は午睡前に子どもをハグ（抱きしめる）し ハグで体をよじったり、痛がったりしないか確認しています。

- ・職員は虐待の園外研修に参加し結果を報告し、園内研修で情報共有を行っています。

- ・園には食物アレルギー児は在園していないようです。

- ・園は体調不良の時、食物アレルギー、家庭の方針宗教上の理由による場合の3ケースで「除去食マニュアル」に基づき除去食を提供しています。「食事内容変更届」を出してもらい対応し、その場合は常勤の担当スタッフがピンク色のエプロンをして、ピンク色のトレイにその名札を立てかけ、間違いのないように最初に配膳します。

- ・園は多文化理解教育を掲げ年間6か国の外国の文化や生活について写真を掲示し、子どもへ早めになじみになるような配慮をしています。

## 評価分類

## I-6 苦情解決体制



## 評価の理由（コメント）

- ・設置法人は育児介護部門で品質保証の国際規格であるISO9001の審査に合格していて、保育サービスの顧客満足度を高めるための種々の方法を実践しています。特に保護者からの意見・苦情の収集のためISO保護者アンケート調査を毎年行っています。
- ・「苦情解決に向けての実施要綱」によれば苦情受けは主任 解決責任者は施設長、直接言いにくい場合には第三者委員2名がおり、玄関のその名前は掲示してあります。
- ・権利擁護機関としては横浜市福祉調整委員会があり住所、電話番号が明記された文書が掲示されています。
- ・第三者委員は園の年2回開催の運営委員会に出席し、保護者の意見を聞いています。記録様式として「苦情受付書」「経過記録」など整備されています。
- ・保護者からの意見や要望は小さいものでもスタッフミーティングにて情報を共有し、是正策等を話し合っています。
- ・毎月の本社会議にて他施設の苦情等が報告され、ケーススタディの場になっています。

## 評価領域Ⅱ サービスの実施内容

## 評価分類

## Ⅱ-1 保育内容[遊び]



## 評価の理由（コメント）

- ・0歳児1歳児のクラスは静かに落ち着いて遊ぶことができるよう、独立した部屋を用意しています。他のクラスでは、年に3回から4回おもちゃの見直しを行い、子どもの年齢、発達、興味に合ったおもちゃが常に子どもの側に有るような環境づくりを行っています。また、棚やテーブル、マットを使い、ままごと、絵本、ブロックなど、それぞれの遊びのコーナーを作り出し、子どもたちが落ち着いて遊べる環境を確保しています。
- ・近隣の保育系列園が合同で行うサッカー大会が近くなると、子どもたちの「勝ちたいから練習しよう」という発案で公園でサッカーの練習を行うなど、子どもの提案を集団活動に取り入れています。
- ・散歩中に採ってきたきたチョウの幼虫を育て、自然に戻したり、ビルの管理会社が管理している畑でイチゴの苗植え、草むしり、レタス、里芋、麦の収穫など、子どもたちは様々な体験を行っています。麦を収穫した際には、麦茶に適した麦の種類を学んだり、焙煎を行い麦茶を作っています。幼虫の成長過程や植物の栽培過程を写真で分かりやすく記録し、子どもたちの何故？や観察する力、興味を広げています。また収穫した野菜を給食に使うこともあります。
- ・散歩の際には職員が率先して挨拶をする姿を子どもたちに見せています。子どもたちも場所によっては、海外からの観光客、ビル管理会社の警備員、テナント職員、車の運転者など多岐にわたって挨拶をしています。
- ・子どもの表現力を培うため週1回全学年で音楽教師によるリトミックプログラムを設けています。
- ・職員は子どもに対して対等な人間としての言葉がけを行うよう努めています。幼児クラスでは、赤ちゃん言葉を使わないようにしています。子ども自身が「どちら様ですか？」など正しい日本語が使えるよう、職員は日々の保育の中で気を付けています。
- ・子どもの発達段階や体力に応じて散歩コースを選んだり、跳び箱などの道具を使って行う体操なども内容(乳児はハイハイ、幼児は飛び越えるなど)を変えて行っています。また、運営法人所属のオリンピック強化選手による発達に合った運動の仕方などの指導もあります。毎週月曜日には公園までの道、公園内の安全確認を担当職員が行っています。



## II-1 保育内容[生活]



・離乳食期の子どもには、手でつかんで食べる(自分で食べようとする意欲)事を大切にし、毎食野菜のスティックを用意しています。野菜は当日準備している素材の中から、大根、ニンジン、パプリカ、インゲンなど幅広く選ぶようにしています。

・季節ごとの行事食を提供するようにしています。年間食育活動計画をたて、行事食(端午、七夕、十五夜、お彼岸など)や多文化食(ニュージーランド、ブラジル、エジプト)、郷土料理(三重、山口、新潟など)、子どもが食事に興味がわくように、また、知識が広がるように食事づくりに配慮しています。

・「給食日誌」に残食の記録をしています。献立がサイクルメニューのため、1回目が終わった頃、給食会議を開催し、残食の多いメニュー、よく食べていたメニューなどについての意見交換を行い、2回目の給食時には量、形状を変えたりしています。

・年2回行われる懇談会では試食ができるようにしています。質問があれば、離乳食を説明したり、人気メニューのレシピを配布したり、配信したりしています。また、病み上がりや体調不良時には「食事内容変更届」を提出してもらい、個別対応を行っている事を保護者に伝えています。

・「SIDS予防対策マニュアル」が作成されています。0~2歳児までは5分おき、3歳以上は15分おきにブレスチェックを行っています。2歳児までは、うつ伏せになって寝ている子どもは、起こさないよう気を付けながら仰向けにしています。年1回、乳幼児救命救急講習を行い、専門的知識や技術の習得に努めています。

・0~2歳児までは、「排泄チェックリスト」をつけて一人一人のリズムを把握し、個人差を尊重しています。排泄チェック表には活動の区切りや子どもが申告によりトイレに行った時、子どもの様子を見てオムツ交換した時、トイレで排尿できたか、などを記入しています。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理[健康管理]



・「保健業務マニュアル」があり、それに基づき一人一人の健康状態を把握しています。登園前に保護者から送信されてくる子どもの健康状態や登園時の口頭での連絡、職員の視診などから子どもの細かな健康状態の把握に努めています。また、成長曲線をつけ、子どもの成長記録や異常の早期発見に努めています。

・健診前に、保護者へ「気になることがあればお知らせください」との書面を配布しています。書面には医師から回答を書き込む欄もあります。医師から書き込まれた回答の書面を渡すと同時に、口頭でも内容を伝えています。必要であれば受診を勧めています。

・保育中に発症または疑われる症状があった場合は速やかに保護者に連絡し、対応について相談しています。子どもは迎えがあるまで、空き部屋(マザーズルーム)で静かに休ませています。保護者には、インフルエンザが流行っている時期には必ず検査を受けるよう伝えています。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理[衛生管理]



・入職時には看護師による研修があります。また、採用後は必要に応じた項目のマニュアルの読み合わせをミーティング中に行っています。感染症が流行する時期前になると、看護師が中心となって、昼休みに数人ずつ嘔吐処理の研修を行っています。

・園は大手の除菌・洗剤メーカーとタイアップして、床の洗浄・除菌、テーブルの洗浄・除菌から、壁、ユーティリティの洗浄・除菌に至るまで、全11部位にわたる詳細な衛生マニュアルを完成し、全職員で分担し、衛生管理にあた

っています。特に感染症などの流行時には、作業頻度を臨機応変にアップして保育環境を守っています。

## Ⅱ-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]





・震度4以上の時には携帯電話やパソコンによる一斉通信システムがあり、緊急時に活用できるようになっています。また、毎月、避難訓練等が行われています。訓練時間を色々な時間に設定し、もしもの場合に備えるようにしています。訓練を担当する職員は当番制になっており、当番になった職員はマニュアルを読み避難計画を立てています。年に数回は避難所である、横浜美術館前まで全員で避難しています。


・アクシデントレポートを基に、事故や怪我がどのようにして起こったのか、場所、時間、曜日、けがの種類等をひと月ごとに統計をとっています。集計した結果をスタッフミーティングで話し合い、保育の見直しを行っています。ヒヤリ・ハットの有無についてもミーティングで確認し、事故の予防に活かしています。

・入居しているビルの施設防災センターとの連絡体制があります。園内には4個の非常ボタンが設置してあり、通報時は1分から2分で警備員が駆け付けることができます。



評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅱ－３ 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが危険な時以外には威圧的な言葉遣いなどが行われないう努めています。子どもに対しても一人の大人として正しい日本語で話しかけるようにしています。</li> <li>・園内研修において「子ども身になって、保護者の立場に立って、先生にして欲しい事、先生にして欲しくない事」をグループに分かれて話し合っています。</li> <li>・必要に応じて、事務所前を使ったり、応接室を使ったりして一対一で話し合える場所があります。</li> <li>・全職員は入職時の研修で守秘義務についての説明があり、誓約書の提出しています。実習生に対してはオリエンテーション時に説明を行い誓約書を提出してもらっています。</li> <li>・業務マニュアルの中に男女平等が明記されており、保育中、無意識に性差を意識した言動がでたときは注意し合ったり、ミーティングで振り返りを行っています。</li> </ul>
<p>Ⅱ－４ 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園児説明会では「重要事項説明書」を基に保護者に対して保育の理念、基本方針、を説明しています。また、年2回行われる懇談会では園長の説明する時間を設け保育の基本方針などを説明しています。</li> <li>・年1回行われるISO保護者アンケートにおいて、基本方針が理解されているか確認しています。</li> <li>・乳児クラスでは電子連絡ノート「ポピンズメモリー」に毎日子どもの様子を記載し保護者がお迎えに来る前に読むことができるようにしています。また、お迎えに来た時には、口頭でも子供の様子を伝えています。幼児クラスでは、必要に応じて「ポピンズメモリー」に記載しています。</li> <li>・相談者が安心して相談できるよう、他の人と会わない時間を設定したり、相談室(マザーズルーム)を利用するなど配慮しています。</li> <li>・月1回News Letter(園だより保育・給食・保健・音楽について記載)、献立表を発行しています。News Letterはパソコン、スマートフォンからも閲覧可能になっています。</li> <li>・年2回保育参加を実施しています。保護者からの保育参加、参観の希望があった場合は随時受け付けています。</li> <li>・卒園生の保護者からの要請で、園への記念品を選定するに当たり職員と話し合いをもっています。</li> </ul> <p>期待される事柄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が自主的な活動を行うことができるよう、園からの働きかけや環境づくりが期待されます。</li> </ul>

### 評価領域Ⅲ 地域支援機能



評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回子育て支援事業センターの要請で出前保育を行っています。また、入居している商業施設ビルからの要請で、育児相談会を開催(看護師、栄養士なども参加)し、身長、体重を計ったり、離乳食の作り方の相談にのっています。</li> <li>・近隣の系列園3園で交流保育が行われ、合同運動会を開催しています。</li> </ul>

### Ⅲ-2 保育園の専門性を活かした相談機能



- ・施設見学の際には育児相談に応じています。年間150件を超える見学者があります。
  - ・関連機関との連携は園長が主に行いますが、主任、看護師、栄養士などの専門職も相談内容の領域によって担当しています。
  - ・事務室カウンターの手元には、緊急時に連絡の必要な病院の電話番号等ファイルを常備しています。
  - ・育児相談については、定期的（最低週に1回）に相談日を設けて対応していません。
- <提言>
- ・地域に対して育児相談を定期的および随時に受け入れていることを積極的に案内して、地域の子育て世代が園のドアをくぐりやすいように配慮を期待いたします。

## 評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅳ-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園では、保育園での行事に地域住民を招待していません。</li> <li>・保育園のビルを管理する会社からは、ビル内のクリスマスツリー点灯式に5歳児の出席が要請され、イベントを盛り上げるなどの協力を行い、地域の人と交流しています。</li> <li>・地域の小学校とは就学対象年長児の学校授業体験、学校内探検などで訪問し、年長児クラス担任職員は学校の公開授業参観に出向いています。</li> <li>・地域のビル内にある「子育て支援センター」においては、近隣の保育園と協力して、出前保育などを行っており、必要に応じて園より、おもちゃや絵本などを持ちだして、参加しています。</li> <li>・横浜みなとみらい地区の「ドックヤード公園」内の、日本丸内部見学を毎年行い、子どもたちに好評です。</li> <li>・子どもたちは散歩・買い物などで地域の商業施設に出向いたり、散歩途上で交通整理のビル警備員とも親しく挨拶を交わしたりして、地域との積極的に交流に努めています。</li> <li>・幼保小の関連で年長児の交流があり、本牧の特別養護老人ホームへ子どもたちの「手作りキャンドル」を持参、プレゼントし、歌やゲームで老人たちとの交流も行います。</li> </ul> <p>&lt;提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会などの園行事では地域の未就園児親子など可能な限り招待し、保育園を中身を経験出来る機会の創出に努めて頂くことを期待いたします。</li> </ul>
<p>Ⅳ-2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人のホームページには園情報を詳しく掲載しています。</li> <li>・設置法人代表の保育園に関する記事は、全国紙にたびたび掲載され、園の情報も合わせ、報道されています。WEBマミタンには園情報を載せています。</li> <li>・西区の幼稚園・保育園紹介冊子には保育所として、すすんでサービス内容の詳細、料金、職員体制等、必要な情報を掲載しています。「子育て支援センター」の園紹介パネルや園のあるビル内の店舗紹介パネルにも園情報の出しています。</li> <li>・見学者に対しては保育所の基本方針や利用条件・サービス内容等について、パンフレット等の資料や「園のしおり」などで分かり易く説明しています。</li> <li>・見学は予約制で、希望者はあらかじめ「受け入れ様式シート」に必要事項を記入の上申込を行い、記載されている持参物携帯の上受け入れています。年間150件を超える見学者があり、混み合うときにはキャンセル待ちも受入れています。</li> <li>・園のホームページや西区の広報誌に受け入れ可能な旨明記しています。</li> <li>・見学希望者には希望の日時を確認して、保育に支障をきたさない範囲ならび対応しています。</li> </ul>

## IV-3 実習・ボランティアの受け入れ



・ボランティアに関して園にはマニュアルなど受け入れの仕組みがあります。

- ・現在までに受け入れ実績はありません。
- ・実際の受け入れがあれば、職員には職員会議で、保護者には運営委員会で説明することとしています。
- ・受け入れ担当は施設長、主任となります。
- ・マニュアル上意見感想を記録することとなります。
- ・実習生の受け入れに関しては、園にはマニュアルなどの仕組みがあります。また、実習生の受け入れ実績があります。
- ・実際の受け入れがあれば、職員には職員会議で、保護者にはNews Letterで説明にしています。
- ・受け入れ担当は施設長、主任です。
- ・実習プログラムは学校や実習生からの希望も入れ、相談しながら作成しています。
- ・実習最終日には実習生、クラス担任、主任、施設長で意見交換会を開き、感想を記録しています。

<コメント・提言>

- ・地域のボランティア及びボランティア団体には保育体験の機会を与えることも、地域への貢献及び園の透明な運営に関して必要です。招致の努められることを期待いたします。

## 評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

## 評価分類

## 評価の理由(コメント)

## V-1 職員の人材育成



- ・職員補充の必要性が出た場合には、施設長は設置法人のナーサリー事業本部認可保育園総括部および人事部と話し合いの上、進めています。
- ・設置法人では職員採用に際して、新人研修、フォローアップ研修、インテンシブセミナーなどで「クオリティブック」を使用して、継続的な研修を行い、職員の絶え間ないスキルアップを促しています。
- ・各職員は毎年「エバリエーションシート(個人目標)」を立てて施設長に提出し、年2回自ら達成度を評価、自己査定し、施設長と個人面談しています。
- ・設置法人担当部署では「人材育成プログラム」にそって、毎年職員のスキルアップに寄与する研修計画を作成し実施しています。
- ・設置法人のホームページには「webポピンズ学習システム」があり、職員およびパート職員は日中の休憩時間や帰宅後の家でも随時学習できるシステムが確立しています。
- ・設置法人の系列園で行われる「公開保育」に職員は積極的に参加し、他園の保育状況を体験しています。
- ・受講した職員の「研修報告レポート」を施設長はよく吟味して、以後の職員受講予定テーマを取捨選択しています。また、新人研修では施設長が講師となるため、受講生のアンケート結果からも反省点を捜して内容を見直しています。
- ・「保育園業務マニュアル」は非常勤職員でも入職時に主任より説明を受け、マニュアルは誰でもすぐ手に取れるところに置いてあります。
- ・主任は非常勤職員と施設長の間に入り、職場でのコミュニケーションの円滑化に貢献しています。

## 評価分類

## 評価の理由(コメント)

### V-2 職員の技術の向上





- ・園の保育日誌には28項目にわたる「保育サービスチェックリスト」があり、各クラス担当職員は毎日一日の保育を振り返り、自分達の保育の質を自己査定しています。
- ・毎日の「保育サービスチェックリスト」結果は、週毎、月毎のスタッフミーティングで取り上げ、問題点、課題を抽出しています。
- ・園では必要に応じて設置法人の「横浜管轄チームリーダー」や「看護師チーム」、「系列外園の相談役」などと相談指導を受けながら保育を進めています。また、職員は西区主催の「絵本」「音楽」などの外部研修にも参加し、指導を受けています。
- ・園の月案、週案、個別カリキュラム、成長記録、保育日誌には、職員は必ず記入する「評価・反省」欄を設けていて、職員自らが考える「評価の視点」を記入しています。
- ・施設長は各指導計画書の「評価・反省」記入内容が「計画の狙いと関連付けてあるか」「子どもの意欲を重視しているか」を必ず確認して、必要な場合には担当職員の指導を行っています。
- ・保育活動のビデオ、写真などを基にカンファレンスを行う「ドキュメンテーション」では、複数の職員の意見を得て次の指導計画の作成、見直しを進めています。
- ・保育士の振り返り、自己評価結果を基にスタッフミーティングで討議の上総括し、施設長が保育園全体の自己評価を行っています。
- ・設置法人には保育所や職員一人一人の法人理念や基本方針、保育課程にそった「評価シート」があり、園ではこのシートにそっても自己評価を進めています。
- ・自己評価結果の総括については設置法人のホームページにまとめたものを掲載しています。

### V-3 職員のモチベーションの維持



- ・設置法人には経験年数や役職に伴う「人材育成プログラム」があり、このプログラムにそって研修計画などを作成しています。
- ・園では施設長、主任、クラスリーダー、職員とのミーティングに際しても、議長の順番制をとっており、職員間で意見を交わしやすい、風通しの良さを目指しています。
- ・職員意見や要望・満足度の掌握には設置法人が年度末に行う職員からのWEBアンケート「キャリアプラン」提出により行っています。

## 評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
<b>VI-1 経営における社会的責任</b>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人株式会社ポピンズサービスの哲学に「倫理」「コンプライアンス」が明記されていて、職員は入社時に必ず研修を受けています。</li> <li>・経営状況は設置法人のホームページに内容が詳しく掲載されています。</li> <li>・設置法人の全体会議や「インテンシブセミナー」のテーマとして、他園の不正、不適切事例を取り上げ、ケーススタディしています。</li> <li>・横浜市ゴミ処理3Rシステムに従い、分別を行っています。</li> <li>・再利用できるものは手作りおもちゃや子どもの自由な発想での製作活動に使用しています。</li> <li>・園では節電、消灯のほかに水道の元バルブも調整し、節水にも努めています。</li> <li>・環境への配慮として、地球環境保護のポスターを玄関に貼りだし、職員、保護者も含めて啓蒙しています。</li> </ul>
<b>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</b>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は原則的には「保育園理念・基本方針」を昼ミーティング時に唱和して仕事に入ることにはしていますが、時間がない時は心で唱えるよう指導しています。</li> <li>・会議の中で議論が錯綜した場合、施設長は「保育園理念・基本方針」に立ち戻って考えるように指導しています。</li> <li>・各職員は毎日行う「保育日誌」での「保育サービスチェックリスト」を通して、自らと理念との隔たりを反省しています。</li> <li>・重要な意思決定のケースとしては、ビル内の電気系統の点検による停電に際して園としては休園せざるを得ない例があり、ビル管理会社の協力を得た上で、保護者への十分な説明と話し合いを行い、全保護者から同意書を貰えることができました。</li> <li>・設置法人では、課題によっては認可保育園統括部、企画営業部など、総力をあげて取り組む仕組みがあります。また、社内の「看護師チーム」「栄養士チーム」などの専門チームは、各分野の最新の情報提供を子育て支援に活かせる仕組みができています。</li> <li>・設置法人主催の「インテンシブセミナー」が年1回開催され、幹部スタッフを育成しています。</li> <li>・シフト表作成に必要な全職員の業務状況把握については、主任のほかに数人の職員がサポートしており、複数職員により運営されています。</li> <li>・主任は施設長と職員の間に入って、全職員間のスムーズなコミュニケーションがなされるように配慮しています。</li> <li>・施設長、主任、看護師は職員の家庭などの問題を含め、精神的、身体的な状況には絶えず気を配っています。</li> </ul>



## VI-3 効率的な運営



・設置法人の代表は保育業界で知名度が高く、将来の保育園運営には高邁な「ビジョン」を持っており、講演会講師を引き受けた折などを通じて、多くの保育関係者からの意見も得ています。

・その結果を持って、系列全体園長会議などで問題が提起され、議論しています。

・系列全体園長会議での議論内容を施設長は園に持帰り、全職員で共有しています。

・設置法人には保育を進めるにあたって、①サービス品質、②人材、③財務管理、④地域との関わりの各項目に対して、4年～5年の長期計画と1年～3年の中期計画を策定し、各園で目標に向けた保育園運営を行っています。

・経理業務のシステム化運用を軌道に乗せ、さらなる業務の効率化を目指しています。

・「インテンシブセミナー」にて次期幹部職員の育成を行っています。

・保育園運営に関して、社会福祉法人会計専門の税理士事務所のアドバイスを受け、適切な運営を行っています。

<提言>

・設置法人代表からする長期計画として「将来の理想とする保育園像」があり、これに向かって「中期計画」があります。今後はさらに「中期計画」の各テーマを実行動目標に結び付ける年度ごとの「事業計画」を作って行動する目標管理システムの確立が望まれます。



## 利用者本人調査

平成年 11 月 7 日、16 日

事業所名：ポピンズナーサリースクールみなとみらい

### 【0 歳児】

#### <散歩>10:00

玄関に皆が揃うまで時間がかかりますが、子どもたちは抱かれたりハイハイしたり、手を繋いでもらって自力で歩いたりして、部屋から玄関まで移動してきます。職員から「ガンバレガンバレ〇〇ちゃん」と応援を受けた子どもは、ハイハイの手助けをしてももらったりしながらも自分で玄関まで出てきます。子どもたちは自宅で使い慣れた帽子をかぶり、目的地の横浜美術館前の芝生まで、大型バギーや徒歩でゆっくりと進みます。紅葉した葉っぱを拾ったり、植栽の枝に触ったり、ハトやカラスにびっくりしたり、犬をみつけたりしています。横浜美術館前の芝生に着くと、職員は芝生の上の安全確認をします。安全確認が終わると子どもたちは芝生の上に降ろしてもらいます。子どもたちは職員たちに見守られながら、整備された芝生の上をゆっくり歩きまわったり、置き石の上にあげてもらったりとのんびりと過ごしています。

#### <オムツ替え>10:45

散歩から帰ると、順番に手を洗います。職員は「袖まくるの上手ねえ」「順番待ってね」などと子どもたちに話しかけながら、芝生の上で汚れてしまった子どもたちの手を丹念に洗っています。

部屋に帰るとオムツ替えです。「オスワリトントン」などの声をかけ 1 歳児と共用になっているトイレで、順にオムツを替えています。

#### <自由遊び、けんか>

自分の好きな保育士の所に行って本を読んでもらったり、マラカス、マトリューシカなど、手に持てる小さなおもちゃを持って一人で遊んでいる。

観察中、おもちゃの取りっこが始まってしまいました。

0 歳児ですので、即座に保育士が間に入り「貸して～。は？」「どうぞ～」などと職員がやり取りを手助けし、おもちゃを手放した子供に対して「かっこいい～」などと話しかけていました。小さい時からルールを身につけるようにしているようです。

#### <食事>

ベビーチェアに滑り止めのシートを敷き子どもが落ちにくいようにしていました。後期食の子どもは時間を少し早く食べるため、先に部屋から出て食事を開始してしまし

た。後期食では子どものつかみ食べの重要性を考え、毎日スティック野菜を付けているそうです。この子どもだけ、職員が全介助で食べさせています。その他の子どもは完了食になっており、それぞれが子ども用のいすに座って自分で食べたり、職員が手助けをして食べさせたりという感じでした。

職員は小さい子に対してはありますが、「今日はお魚で鮭です」などと食べさせながら説明をしていました。

#### <午睡前>11:40

食事が終わり部屋に帰ってくる。抱っこして、顔を見ながら授乳中の子ども有。カーテンが閉められている。パジャマに着替えた子どもたちは、布団の上をゴロゴロしながら職員とのスキンシップを楽しんでいる。♪一本橋くちやくちや♪♪頭トントン♪などを歌いながら手遊びしたり、している。寝る前の一種の儀式？ディズニーの星に願いを♪をBGMでかけている。オスワリトン、お話しパチで本読みタイムが始まり、いよいよお昼寝という雰囲気を出している。静かに本を読みながら子どもたちにも語りかけている。本読みが終わると「ありがとうございました」「皆さんと一緒に。おやすみなさい」「〇〇ちゃんのお布団何処？」などと話しかけられながら、子どもたちは自分の布団の所に行きます。タオルケットを掛けられ、背中やお腹をトントンされながら眠る子、保育士に抱っこされたまま眠る子、あっという間に子どもたちは眠ります。

### 【1歳児】

#### <朝のおやつ>

全員スタイを着けて、テーブルに座ります。1歳児ですが、テーブルにおかれたコップを上手に両手で持ち上げ、充分でちゃんとお茶を飲み、クッキーに手を出して、手づかみで、美味しそうに食べ始めました。

#### <おやつ後>

おやつが終わると1歳児は自分の部屋に帰り、線路の図柄のカーペットの上で、絵本を開いたり、友達の開いている絵本の絵を覗き込んだりして、ゆったりとした自由時間を楽しんでいました。

その内に保育士のリードで、散歩の準備が始まり、数人の子はすでに帽子をかぶり、準備が完了です。

### 【2歳児】

#### <散歩準備>

ロッカーを背にしてお座りし、職員から今日のプログラムの説明を受け、次に絵本の読み聞かせです。皆静かに聞いていました。次に職員の声掛けで、自分の帽子をかぶったり、靴下を履いたりして、散歩の準備です。皆自分で靴を履き、玄関外に並びます。並んでいるとき、子どもからちょっと寒い声が掛かり、職員はすぐに全員のジャンパーを取りに行き、全員ジャンパーを着込みました。今日の目的地は歩いて25分くらい

の「運河パーク」です。

#### <散歩>

皆、自分で靴を履き玄関外に並びます。子どもからの“寒い”の一言で、保育士が保育室にとって返し、全員の防寒上着を持ってきました。3歳児グループに抜かれて出発です。二人ずつ手をつなぎ、ビルの警備員にも朝の挨拶をしながら、安全に進みます。クイズスクエアを抜けると、そこは運河で、後10分くらいで「運河パーク」です。

到着すると全員はさくらの樹の下の芝生で遊びます。つぎに円形花壇のまわりを保育士と一緒に走ります。その内に4歳児も合流してきました。つぎは落ち葉拾いです。何枚拾ったか保育士に報告に行きます。

#### <食事>11:10

食育：ながねぎ（郷土料理の新潟料理ののっぺい汁に入っていた）子どもに名前を聞いたり、触らせたり、匂いを科がさせたりしている。臭いをかぐとき、とても嫌そうな顔をする子と、何事もなかったような顔をする子がいました。何となく、長ネギに接触するのはどの子も初めてのよう感じがしました。

トレイに一人分ずつセットした食事が子どもの前に配られていきました。2歳児まではワンプレートです。食べやすさを考えての事だそうです。サンキューサンキューの食事の歌。

#### <献立の発表>

「フォークとスプーン、どっちが好き？」などと職員から話しかけられ、自分の使い易い方を選び食べ始めている。食後は歯磨き。

### 【3歳児】

#### <散歩>

自分のロッカーから各自が上着と帽子を取り出して、準備ができた子からテーブルに座り、保育士の次の指示を待ちます。この日は2歳児とおなじ、「運河パーク」が目的地です。2歳児は先に全員準備ができていて、玄関の外の歩道で整列です。

遅れて出てきた3歳児は、点呼の後、すぐに出発です。3歳児は歩くのが早く、追い抜いた2歳児をはるか後方に残し、「運河パーク」には約1km大きく遠回りしてゆくようです。3歳児が大回りして「運河パーク」に到着したところに、同時に追い抜いた2歳児も到着した所でした。到着してもまだ体力に余りがあり、保育士の笛に合わせてマラソンをしています。

### 【4、5歳児】

#### <朝の自由時間>

異年齢で同じ保育コーナーで絵本読みをしています。職員を真ん中に読み聞かせをして貰っている子どもたちもいます。次の散歩のプログラムが近づいてくると、職員の声

掛けにより、自分で帽子やジャンパーを着て、準備はすぐにできました。

### <散歩>

園は散歩の行き先を 6 か所に決め、当日朝の職員ミーティングで行き先を決めます。事前に毎週月曜日に 6 か所の目的地の調査を行いチェックしています。

今日の行き先は臨港パーク。4 歳児 8 人、5 歳児 12 名。引率保育士は男性 2 人 温度は 13 度、寒さ対策は十分です。臨港パークまで歩いて 15 分。道路はコンクリート舗装。臨港パークは海のそばで海風が冷たい。やきなどの常緑樹が植えられ、芝生の上でま上体をのばしたり、屈伸運動で体をほぐします。脱いだダウンを丁寧に畳み 1 箇所にとめます。

### <スポーツフェスティバル リレー の練習>

スポーツフェスティバルの出しもの 4、5 歳児の「園対抗リレー」（近郊の系列 3 園合同）の練習です。カラーコーナを輪状に 1 周 50m 周囲に配置、2 組に分かれてスタートします。走るのが得意な子どもと遅い子はすぐ差ができてしまう。リングのバトンをわたすことを子どもに教えますが、手間取るこども、途中で走るのをやめてしまう子どももいます。先生が何事がおきたかと、様子を見に駆け寄りますが、子どもは泣き出してしまい、その差は 1 周も開きます。「最後まで走るんだよ、遅れてもいいから」と説得し、また走り出す。歩くように走るこどもには「ちょろちょろ走るな」と励ますように声をかける。どんなに遅れても完走させることが目的のようです。園対抗だから最後までバトンを渡し、完走しなければ負けてしまう。そのことを保育士は教えています。

### <食事>

散歩の後 すぐ食事になります。職員は皆男女を問わず除菌された白の 3 角巾、エプロンをして調理室から出てくる食器テーブルに並べてゆきます。4 歳児 7 名、5 歳児 11 名の子ども達は順番に陶器のお皿に盛られた料理を取りに行き、自分のテーブルに運びます。今日は米ご飯、骨抜き焼き鮭、ひじきなど 5 品ですので、あわせて 5 回、取りに行っていました。喋りながらふざけている子もいますが、誰ひとりとして料理をこぼしたり、落としたりする子はいません。取り終わった段階で、当番の子ども 2 人が前に進み、[食事の歌]を合唱し、「いただきます」といって食事を作ってくれた人に感謝の言葉を述べ、礼をして一斉に食事に入ります。職員は 4 人、食事を一緒にせず、こどもの食べるさまを見守っています。食べるのが進まないこどもにはやさしく、言葉をかけます。

子どものなかには 箸が上手につかえない子どももいます。喋りが主で食事の進まないこども、箸を両手にもって固まったご飯をつついて、細かくして食べている子、お皿を 5 本指で下からもって食べる子もいます。家庭のしつけがそのまま出てきています。見守る職員はそこまでは注意しません。お代わりもあり始まって 30 分ぐらいで食事は終わります。

ほぼ 2 割の子どもを残して全員出された料理は全量食べてしまっています。食事を残



さないという基本的なマナーを守っているようです。

食事を終えてから 全員が食べ終わるまで、子ども達は背筋をびしっと伸ばし、手を膝に置き、テーブルに手を置かないで、待っています。マナーが出来ています。和食の食べ方としては美しいマナーです。食事マナーをみれば その育ちがわかる といわれます。県下有数の高額マンション群の住民の子ども達が殆どです。

### <5歳児> ; キャンドル作り : 近所の施設の老人に贈るために

クリスマスを前に近くにあるケアプラザの老人たちに贈るクリスマスに飾るキャンドル作りに立ち会いました。当スクールが入居するビルの5階屋上に「みんなの庭」というパブリックスペースがあり、その人工庭にミカン類などの植物、野菜類が植えられ育っています。その植物、野菜を摘み、キャンドルの外側に埋め込み 月桂冠をもじった輪の中に立てるというものです。ろうは60度で溶けること、溶けたろうにはちみつを流しこむと固まります。水は凍ると膨張するがろうは逆に縮小する、という**原理を庭の女性職員が説明します**。用意されたろうの芯を、やや大きめの管の真ん中にいれ、芯と外側の管の間に摘んできたハーブ、ローズマリー、ブルーベリーなどの葉やハーブの茎を差し込みます。

庭にあるミカン、ゆず、はっさく、ほっぷなど**名前と実物**を覚えてゆきます。自分たちが前の年に植えたサフランが大きくなっているのに驚き、喜んでいます。4班に分かれ、葉っぱをつむひと、集めて入れ物に入れる人と**役割分担**をします。集めた草花をろうの芯がはいった管の空間に差込み、いっぱいにします。そこへ溶かしたろうをその空間に流し込みます。余った草花はハーブの茎で作った月桂冠にボンドでくっつけます。少ししか摘めなかった班には余った草花を譲ったりして**チームワーク**を発揮しています。赤 黄色 緑の花 葉っぱがきれいにくっついてゆきます。

美しくしようという**色彩感覚**が養われるようです。同時に**創作意欲**も養われます。

キャンドル作りが完成するには3時間はかかるそうです。名前を書いたポストイットを管に貼り付けた段階で今日は終わりです。完成したキャンドルは見ることも出来ませんでした。子ども達はそのキャンドルをクリスマスにケアプラザの老人たちにプレゼントとするのが楽しみのような様子でした。

残った葉っぱ 汚した庭はほうきできれいに掃いて終わりです。

職員は子どもたちの様子を**デジカメで写し、廊下に即日貼り出し**ていました。

### 【5歳児】のみ

#### <入場行進の練習>

大きな旗をもって行進曲風に入場する練習。先生の合図で旗を高く持ち上げ、一斉に振る、順番におろしてゆく、地面につけて、また持ち上げる。最後に片膝ついて横に旗をつないでゆく。そして円になるように輪になって行進する。このくり返し練習です。

5歳児の運動能力は高く、最初はバラバラであったのが何回も練習を重ねるうちに揃うようになってきています。1時間ほどでそろってきました。

先生は「みなよくできた 感動した」と何回もこどもをほめる。少し自信がついたのか、子ども達は自由に遊べる時間になっても、このフラッグ行進の練習をしていました。

4歳児は5歳児が練習している間、その練習をみていました。

公園には1時間半ほどいて帰りました。途中の道はすべてビル街を通る。警備員のおじさんに「いつもありがとう」とタクシーの運転手に「いつも乗せていただいてありがとう」とありがとうを連発して帰ります。「ありがとう」と声をかけられた方は皆微笑む。こうして 和やかな雰囲気生まれ ささやかな交流が生まれてゆきます。

## 利用者家族アンケート

### ポピンズナーサリスクール みなとみらい保

・0歳児	3
・1歳児	8
・2歳児	5
・3歳児	7
・4歳児	6
・5歳児	6
無記入	
合計	35
回収率	87%

調査期間 平成 28 年 9 月 4 日～ 9 月 14 日

調査機関 NPO法人 中小企業再生支援



■保育園の基本理念や基本方針についておたずねします。

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか(○は1つだけ)

1 よく知っている	8名 %	3どちらともいえない	3名	4 あまり知らない	名 %
2 まあ知っている	24名 %	5 まったく知らない	名 %		

合計 35

付問1 【「1 よく知っている」または「2 まあ知っている」とお答えの方へ】

あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。(○は1つだけ)

1 賛同できる	27名 %	3どちらともいえない	名 %	4 あまり賛同できない	0
2 まあ賛同できる	5名 %	5 賛同できない	0		

■ここからは保育園のサービス内容について、満足度をおたずねします。

問2 お子さんが入園する時の状況についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。(○はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

(上段の単位は人)	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
見学の受け入れについては	22	6	0	0	7
	63%	17%	0%	0%	20%
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	23	9	2	0	1
	66%	26%	6%	0%	3%
園の目標や方針についての説明には	22	11	2	0	0
	63%	31%	6%	0%	0%
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	27	7	1	0	0
	77%	20%	3%	0%	0%
保育園での1日の過ごし方についての説明には	24	9	2	0	0
	69%	26%	6%	0%	0%
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	22	11	1	0	1
	63%	31%	3%	0%	3%

問3 保育や行事の年間計画についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。  
 (〇はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他
年間の保育や行事についての説明には	22	11	2	0	0
	63%	31%	6%	0%	0%
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	17	13	1	1	3
	49%	37%	3%	3%	9%

問4 日常の保育内容についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。  
 なお、乳幼児期の保育は、教育的なねらいを持った遊びを通して行われています。  
 (〇はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

「遊び」について	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	21	13	1	0	0
	60%	37%	3%	0%	0%
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	19	11	5	0	0
	54%	31%	14%	0%	0%
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	23	12	0	0	0
	66%	34%	0%	0%	0%
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	21	10	3	1	0
	60%	29%	9%	3%	0%
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	20	13	2	0	0
	57%	37%	6%	0%	0%
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	20	14	0	0	1
	57%	40%	0%	0%	3%



「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
給食の献立内容については	28	6	0	0	0
	80%	17%	0%	0%	0%
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	27	8	0	0	0
	77%	23%	0%	0%	0%
基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	26	9	0	0	0
	74%	26%	0%	0%	0%
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	26	7	1	1	0
	74%	20%	3%	3%	0%
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	23	11	0	0	1
	66%	31%	0%	0%	3%
お子さんの体調への気配りについては	31	3	1	0	0
	89%	9%	3%	0%	0%
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	26	9	0	0	0
	74%	26%	0%	0%	0%

問5 保育園の快適さや安全対策などについてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。（〇はそれぞれ1ずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。）

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
施設設備については	26	14	5	0	0
	74%	40%	14%	0%	0%
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	23	10	2	0	0
	66%	29%	6%	0%	0%
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	19	14	1	0	1
	54%	40%	3%	0%	3%
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	25	5	5	0	0
	71%	14%	14%	0%	0%

問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。  
 (〇はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	25	10	0	0	0
	71%	29%	0%	0%	0%
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	26	8	1	0	0
	74%	23%	3%	0%	0%
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	27	7	1	0	0
	77%	20%	3%	0%	0%
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	26	6	3	0	0
	74%	17%	9%	0%	0%
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	23	10	1	0	1
	66%	29%	3%	0%	3%
保護者からの相談事への対応には	25	10	0	0	0
	71%	29%	0%	0%	0%
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	26	8	0	0	1
	74%	23%	0%	0%	3%

問7 職員の対応についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。  
 (〇はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
あなたのお子さんが大切にされているかについては	27	8	0	0	0
	77%	23%	0%	0%	0%
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	28	7	0	0	0
	80%	20%	0%	0%	0%
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	25	7	0	0	3
	71%	20%	0%	0%	9%
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	27	8	0	0	0
	77%	23%	0%	0%	0%
意見や要望への対応については	25	10	0	0	0
	71%	29%	0%	0%	0%

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

総合満足度は	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
	29	6	0	0	0
	83%	17%	0%	0%	0%